

本人のための教育 一人ひとりの「学ぶ力」「生きる力」をはぐくむ

大綱全般の評価指標 5つのテーマ別評価指標の進捗により判断 → 目標達成+目標との差が縮小した指標の増加

5つのテーマ	目指す方向	施策の方針	取組項目	指標及び目標 (対象期間：令和3年度～令和6年度)
1. こころと身体を子どもの成長に合わせてはぐくむ	<ul style="list-style-type: none"> 自己肯定感と他者への寛かなこころをはぐくむ 健やかな身体をはぐくむ 就学前教育に関わる全ての関係者が共通の意識を持って実践する 	就学前教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> 意識の共有・理論の確立と実践 	<ul style="list-style-type: none"> ① 「はばたくなら」の活用 活用率の増加【県調べ】 ② こども食堂の全小学校区での設置 100%(R7)【県調べ】 ③ 小・中学生の体力合計点(男女別) 全国平均レベルの維持【全国体力・運動能力、運動習慣等調査】
		こころと身体のはぐくみ	<ul style="list-style-type: none"> 自尊心・利他心のはぐくみ 運動によるこころと身体の発達の促進 	
2. 学ぶ力、考える力、探究する力をはぐくむ	<ul style="list-style-type: none"> 学ぶ楽しさを知り生涯学び続ける意欲をはぐくむ 人に自分の考えを理解してもらう力をはぐくむ 新たな時代を豊かに生きる力をはぐくむ 	学び考え探究する力のはぐくみ	<ul style="list-style-type: none"> アクティブ・ラーニングの実践 	<ul style="list-style-type: none"> ① 学習意欲の向上に関する設問に対する回答 肯定的回答率の向上【県調べ】 ② 「自分の思っていることや感じていることをきちんと言葉で表すことができている」に肯定的に回答した割合 全国平均以上【全国学力・学習状況調査】 ③ 「自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していた」に肯定的に回答した割合 全国平均以上【〃】 ④ 授業にICTを活用して指導する能力 できる、ややできると回答 85%以上【学校における教育の情報化の実態等に関する調査】 ⑤ 児童生徒のICT活用を指導する能力 できる、ややできると回答 85%以上【〃】 ⑥ 情報活用の基盤となる知識や態度について できる、ややできると回答 85%以上【〃】 ⑦ 教職員研修受講後アンケートの活用の可能性 活用できる、どちらかといえば活用できると回答 90%以上の維持【県調べ】 ⑧ 休日の中学校部活動の地域への移行 実施市町村数の増加【県調べ】
		新たな教育のスタイル	<ul style="list-style-type: none"> ICTを活用した授業の充実 教員の働き方改革 	
3. 働く意欲と働く力をはぐくむ	地域で学びとしごとを円滑に接続させる	働く意欲と働く力のはぐくみ	<ul style="list-style-type: none"> キャリア教育、インターンシップ、実学教育 	<ul style="list-style-type: none"> ① インターンシップに参加する生徒の割合 割合の増加【県調べ】 ② 産業界との連携 協力企業数の増加【県調べ】 ③ 奈良県立大学における就職希望者の就職率 国公立大平均値以上【大学等卒業生及び高校卒業生の就職状況調査】 ④ 職業訓練修了者の就職率 100%【県調べ】
		地域での職業選択を叶える	<ul style="list-style-type: none"> 地域での働く場づくり 職業訓練やリカレント教育 	
4. 地域と協働して活躍する人を育てる	<ul style="list-style-type: none"> 異なる価値観を持つ人々と共生する力をはぐくむ 地域をコーディネートする力をはぐくむ 生涯にわたる学びを通して郷土への誇りと愛着をはぐくむ 	地域を良くする力のはぐくみ	<ul style="list-style-type: none"> 地域全体での子どものはぐくみ 地域のコーディネーターの育成 	<ul style="list-style-type: none"> ① 県立学校におけるコミュニティ・スクールの設置 100%【県調べ】 ② 「郷土学習の手引」の活用 活用件数の増加【県調べ】 ③ まちづくりのための活動行動者率 率の増加【社会生活基本調査】 ④ 芸術・文化活動を行う県民の割合 全国1位【社会生活基本調査】
		地域を楽しむためのはぐくみ	<ul style="list-style-type: none"> 生涯にわたる学びの推進 	
5. 地域で個性が輝く環境と仕組みをつくる	<ul style="list-style-type: none"> 豊かなこころをはぐくむ 主体性を持ち、自立して生きていく力をはぐくむ 個々の特性を理解し、共生する力をはぐくむ 	いじめ防止対策	<ul style="list-style-type: none"> いじめを生まない環境づくり いじめを見逃さない取組の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ① いじめ防止対策の取組 認知件数、解消率の増加【児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査】 ② 不登校児童生徒への学習支援 学習プログラムの作成・実施【県調べ】 ③ 若者のための居場所登録数 登録数の増加【県調べ】 ④ 個別的教育支援計画や個別の指導計画の活用 作成率の増加【県調べ】
		不登校・ひきこもり対策	<ul style="list-style-type: none"> 相談窓口の設置、居場所づくり 	
		インクルーシブ教育	<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりの教育的ニーズに応じた切れ目ない支援体制の整備 	

評価指標の進捗状況

5つのテーマ	指標	目標値	前回値	前回値の年度	前回値の全国値	現状 (R3直近)	直近の年度	直近の全国値	進捗状況
1.こころと身体を子どもの成長に合わせはぐくむ	①「はばたくなら」活用状況	活用率の増加	45.8	R2		52.3	R3		目標達成
	②子ども食堂の全小学校区での設置	100%	25.1	R2		34.6	R3		目標値との差が縮小
	③-1 小学生の体力合計点(男)	全国レベルの維持	53.68	R1	53.61	52.44	R3	52.52	目標値との差が拡大
	③-2 小学生の体力合計点(女)	全国レベルの維持	55.38	R1	55.59	54.24	R3	54.64	目標値との差が拡大
	③-3 中学生の体力合計点(男)	全国レベルの維持	41.88	R1	41.69	42.14	R3	41.18	目標達成
	③-4 中学生の体力合計点(女)	全国レベルの維持	50.10	R1	50.22	49.26	R3	48.56	目標達成
2.学ぶ力、考える力、探究する力をはぐくむ	①学習意欲の向上に関する設問に肯定的に回答した割合	肯定的回答率の向上				作成	R3		
	②-1「自分の思っていることや感じていることをきちんと言葉で表すことができる」に肯定的に回答した児童の割合	全国平均以上				64.6	R3	70.3	
	②-2「自分の思っていることや感じていることをきちんと言葉で表すことができる」に肯定的に回答した生徒の割合	全国平均以上				68.3	R3	75.2	
	③-1「自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していた」に肯定的に回答した児童の割合	全国平均以上				59.7	R3	63.5	
	③-2「自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していた」に肯定的に回答した生徒の割合	全国平均以上				52.7	R3	62.0	
	④授業にICTを活用して指導することができる、ややできると回答した割合	85%以上	73.3	R2		75.6	R3		目標値との差が縮小
	⑤児童生徒のICT活用を指導することができる、ややできると回答した割合	85%以上	75.4	R2		77.1	R3		目標値との差が縮小
	⑥情報活用の基盤となる知識や態度についてできる、ややできると回答した割合	85%以上	85.2	R2		84.9	R3		目標値との差が拡大
	⑦教職員研修受講後アンケートの活用の可能性 活用できる、どちらかといえば活用できると回答した割合	90%以上の維持	98.2	R2		97.9	R3		目標達成
⑧休日の中学校部活動の地域への移行	実施市町村数の増加	2	R3		3	R4		目標達成	
3.働く意欲と働く力をはぐくむ	①インターンシップに参加する生徒の割合	25%以上	16.3	R1		12.8	R3		目標値との差が拡大
	②産業界との連携に関する協力企業数	協力企業数の増加	2	R2		2	R3		横ばい
	③県立大学における就職希望者の就職率	国公立大学平均値以上	95.2	R2	96.0	95.8	R3	96.1	目標値との差が縮小
	④職業訓練修了者の就職率	100%	86.7	R2		88.1	R3		目標値との差が縮小
4.地域と協働して活躍する人を育てる	①県立学校におけるコミュニティスクールの設置	100%	22.2	R2		32.7	R3		目標値との差が縮小
	②「郷土学習の手引」の活用件数	活用件数の増加	48	H30		129	R3		目標達成
	③まちづくりのための活動行動者率	率の増加	12.8	H28		7.5	R3		目標値との差が拡大
	④芸術・文化活動を行う県民の割合	全国1位	5位(12.9%)	H28		5位(11.4%)	R3		横ばい
5.地域で個性が輝く環境と仕組みをつくる	①-1 1,000人当たりのいじめの認知件数	全国平均以上	52.5	R2	39.7	60.0	R3	47.7	目標達成
	①-2 いじめの解消率	率の増加	73.5	R2	77.4	83.2	R3	80.1	目標達成
	②不登校児童生徒向け学習プログラムの作成・実施	作成・実施				作成・実施	R3		目標達成
	③若者のための居場所登録数	登録数の増加	12	R2		13	R3		目標達成
	④-1 個別の教育支援計画の活用	作成率の増加	70.5	R2		85.4	R3		目標達成
	④-2 個別の指導計画の活用	作成率の増加	81.4	R2		87.5	R3		目標達成

大綱推進のための施策及び評価指標の進捗状況について

1. こころと身体を子どもの成長に合わせてはぐくむ

第2期教育振興大綱推進のための施策について

・大綱推進のための施策について、施策類型別、世代別でまとめたもの

- 就学前教育の充実という観点から、就学前の子どもたちに対する取組を多く実施しています。
- こころと身体をはぐくむ観点から、小学校や、地域における文化・スポーツに親しむ取組などを実施しています。
- 教育の質の向上から体制整備、普及啓発まで、バランス良く取組を実施しています。

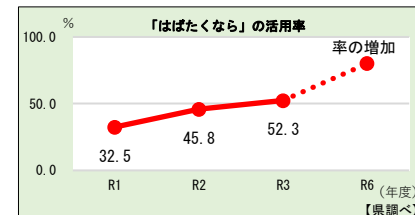
施策の方針	施策類型			令和4年度の主な取組(計画)	R4年度予算額(千円)	世代別					
	人材育成の向上	体制整備支援	普及啓発			乳幼児期教育(0~6歳)	義務教育(小・中学校)	高等学校教育(高校生)	高等教育(大学生・専門学生等)	リカレント教育(社会人等)	
① 就学前教育の充実			○	奈良っ子はぐくみ基本方針の普及 ・保育者向けの周知 ・保護者向けの周知	82	■					
			○	・「はばたくなら」の実践事例集及び連載漫画で解説した啓発誌「はばたきの詩」を作成・配布	2,871	■					
			○	・「はばたくなら」等を活用した研修の実施 ・各市町村において就学前教育の質の向上を推進する市町村アドバイザー養成研修を実施。	454	■					
			○	・就学前教育アドバイザー等による支援訪問及びはぐくみ講座の実施、人材育成ガイドラインの周知	16,165	■					
② こころと身体をはぐくむ			○	・総合型地域スポーツクラブと連携のうえ、幼児向け運動・スポーツプログラムを活用し地域で子どもたちが運動・スポーツを楽しむ環境整備を推進	5,750	■	■				
			○	幼児向けアート・音楽プログラムの実施 ・幼児向けアートプログラムの通年開催 ・ヴァイオリン等を用いた講座やイベント開催 子ども向け能楽体験教室の実施 ・能楽体験や狂言教室の実施	14,208	■					
			○	・こども食堂を核として県や市町村、地域の多様な主体の参画によるこどもへの支援活動(交流会の開催、こども食堂のイベントの開催支援、試行的こども食堂の開催支援)	950	■	■	■			
			○	・まほろば健康パークの機能強化について、民間のノウハウを活かした整備・管理運営手法の導入に向けた手続きを推進	62,644	■	■	■	■	■	
		○	・就学前のこどもの基本的な生活習慣の定着を促進するため、関係機関と連携イベントを実施	700	■	■					

第2期教育振興大綱に基づく施策の評価指標

・評価指標のうち、目標を達成している指標と目標との差が拡大している指標について分析

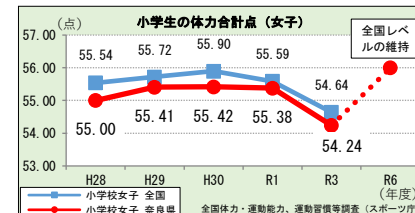
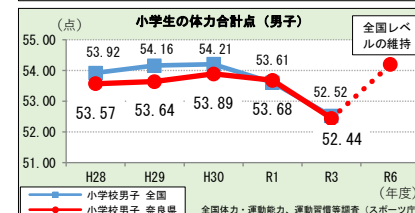
目標を達成している指標

- 「はばたくなら」実践事例集の活用や、就学前教育アドバイザーによる支援訪問や研修会等での周知を図っています。
- この結果、奈良県就学前教育プログラム「はばたくなら」の活用状況は52.3%で、年々増加しています。



目標との差が拡大している指標

- 小学校における体力向上の取組や、幼児向け運動プログラムの取組などを実施しているものの、小学校の体力合計点は、男子が52.44、女子が54.24であり、いずれも全国レベルの維持の目標に対し、「目標値との差が拡大」しています。
- 全国的に数値が低下していることから、新型コロナウイルス感染症の影響も考えられます。



課題

- 就学前教育の更なる充実を図るため、就学前教育の推進役となる各地域におけるリーダーの育成や小学校への円滑な接続等の取組が必要です。
- 新型コロナウイルス感染症の影響による運動不足や、運動する児童生徒と運動しない児童生徒の二極化の解消が必要です。

目標達成に向けた取組

- ✓ 就学前教育に関わる人材の育成ガイドラインを活用した研修の実施。【R4新規】
- ✓ 各地域における就学前教育の推進役である市町村アドバイザーの養成。【R4新規】
- ✓ 小学校の教員を対象とした、体力向上の取組や体育指導の充実と発展を図ることを目的とする研修会(ステップアップミーティング)の開催。【R4継続】
- ✓ 小学生を対象に、なわとびやボール運動等の記録達成(登録)に挑戦する「外遊び、みんなでチャレンジ!」を実施及び各種目上位者の表彰。【R4継続】
- ✓ 体力向上に係る校種間(小・中・高等学校)連携のための研修会の実施。【R4継続】

大綱推進のための施策及び評価指標の進捗状況について

2. 学ぶ力、考える力、探究する力をはぐくむ

第2期教育振興大綱推進のための施策について

- 大綱推進のための施策について、施策類型別、世代別でまとめたもの
- 小中高年代の子どもたちに、学び考え探究する力をはぐくむ取組や経済支援などを実施しています。
- 新たな教育スタイルとして、ICTを活用した取組も進めています。
- 学校現場を中心として、教育の質の向上や体制整備を中心に取組を実施しています。

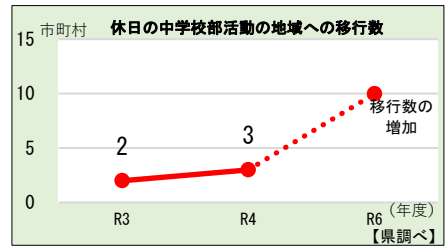
施策の方針	施策類型			令和4年度の主な取組(計画)	R4年度 予算額 (千円)	世代別					
	人材 育成 の 向上	体制 整備 支援	普及 啓発			乳幼児 教育 (0-6歳)	義務教育 (小・中学校)	高等学校 教育 (高校生)	高等教育 (大学生・専 門学生等)	リカレント 教育 (社会人等)	
(1) 学び考え探究する力をはぐくむ	○			・全国学力・学習状況調査等の調査結果を活かした授業改善等の方策を提言する有識者会議を実施 ・児童生徒の学ぶ力を育むための指導の在り方等についての研修会を実施	1,110		■				
			○	・学校図書館の利活用に係る調査研究事業を1市において実施し、その成果を検証・分析し、県内に周知	500		■				
	○			・ESD(環境・エネルギー問題等を通して持続可能な社会づくりに貢献できる担い手を育む教育)に関する学習環境の整備及び教員向け研修	8,742			■			
	○			・語学力・コミュニケーション能力の醸成や異なる価値観への理解を深めるため、留学経費等の補助や留学フェアを実施	2,420			■			
	○			・県内大学等と連携し、英語教育担当教員の資質向上を図る研修を強化	3,267		■	■			
		○		・学校統合等による通学費の保護者負担を軽減するため、町村の遠距離児童生徒通学費支援事業に対し補助 ・へき地の拠点校等に常勤の専科教員等を共同配置し、近隣校を巡回して授業等を実施する市町村に対し補助	10,111		■				
	○			・私立学校の経常的な経費に対して補助(県の教育課題の解決に積極的に取り組む学校には補助を加算し、特色ある取組を支援)	6,149,952	■	■	■	■		
		○		・家庭の経済事情のために進学を諦めることのないよう、私立学校に通う学費負担者に対して授業料等を補助	3,653,011			■			
		○		・関西5府県と連携し、訪日教育旅行を誘致することにより、若年層の交流拡大による国際相互理解の増進や、国際理解教育の推進を実施	1,000		■		■		
	(2) 新たな教育のスタイル		○	・県立学校の教育系及び校務系インターネット回線の高速化、大容量化	23,692				■		
		○	・県立学校校務系ネットワーク及び校務支援システムの運用	476,335				■			
		○	・教員業務支援員(スクール・サポート・スタッフ)を配置する市町村に対し補助	60,000			■				
		○	・県域統合型校務支援システムを導入する市町村に対する支援	2,800			■				
○			・県立高校モデル校に部活動指導員を配置 ・市町村が中学校に部活動指導員を配置する費用に対し補助	39,929		■	■				
		○	・部活動指導の段階的な地域移行に向けたモデル事業の実施 ・青少年のインターネットやSNSを介したトラブルを防止するため、インターネットリテラシーを高める講習や啓発動画の制作による啓発活動を実施	1,422		■	■				

第2期教育振興大綱に基づく施策の評価指標

- 評価指標のうち、目標を達成している指標と目標との差が拡大している指標について分析

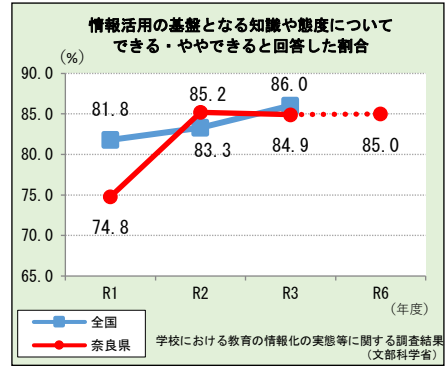
目標を達成している指標

- 部活動指導の段階的な地域移行に向け、モデル事業を実施しています。
- この結果、休日の中学校部活動の地域への移行については増加しており、目標を達成しています。



目標との差が拡大している指標

- 学校現場においてICT環境の整備が進んでいるものの、情報活用の基盤となる知識や態度について(できる・ややできると回答した割合)は、84.9%に減少しており、「目標値との差が拡大」しています。
- 情報セキュリティ等に関してこれまで以上に丁寧な指導を行う必要性が生じているため、令和3年度の数値が減少したと推察します。



- #### 課題
- 更なる部活動の地域移行に向け、地域人材の確保やマッチングする仕組みの構築、費用負担の在り方の整理など有用性や改善点の検証が必要です。
 - 児童生徒が主体的にICTを活用する中で、情報セキュリティ等に関する問題に対応できる力を身に付けさせることが重要であり、教職員のICT活用指導力の更なる向上が必要です。

目標達成に向けた取組

- 休日の部活動の地域への移行を推進するため、モデル校を設置。【R4継続】
- 県立高校モデル校に部活動指導員を配置【R4新規】
- 教育におけるICT活用に関する研修の充実と受講の促進。【R4継続】
- 学習用ICT環境の整備について、市町村へ望ましい環境を提示し、導入支援を行う。児童や生徒用の端末について、活用促進の啓発を行うとともに、県立学校の大型提示装置の導入推進。【R4継続】

大綱推進のための施策及び評価指標の進捗状況について

3. 働く意欲と働く力をはぐくむ

第2期教育振興大綱推進のための施策について

・大綱推進のための施策について、施策類型別、世代別でまとめたもの

- これから社会に出ていく主に高校生年代に対して、働く意欲をはぐくむ取組を実施しています。
- 高校卒業後に、地域で様々な職業選択ができるような取組を実施しています。
- 幅広い世代に、様々な分野で活躍する人材を育成する取組を実施しています。

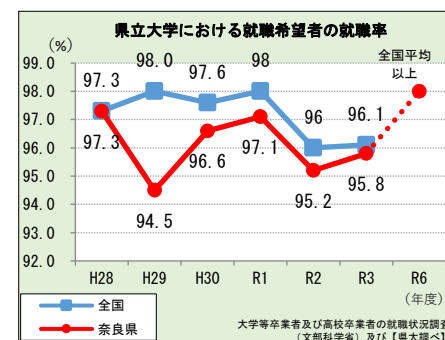
施策の方針	施策類型			令和4年度の主な取組(計画)	R4年度 予算額 (千円)	世代別				
	人材 育成 の 向上	体制 整備 支援	普及 啓発			乳幼児 教育 (0~6歳)	義務教育 (小・中学校)	高等学校 教育 (高校生)	高等教育 (大学生・専 門学生等)	リカレント 教育 (社会人等)
(1)働く意欲と働く力をはぐくむ	○			・高校生の主体的な進路選択を実現するために高校生の段階から勤労観・職業観を養うことを目的とした取組を実施 ・障害のある生徒が自立し社会参加を図るため、特別支援学校にキャリア教育コーディネーターを配置	5,111			■		
	○			・南部地域の振興に貢献できる人材を育成するため、職業教育に必要な実習用品を整備	5,000			■		
	○			・「県立高等学校適正化実施計画」に基づき、各学校の教育内容を充実 ・地元企業や地域と連携し、座学と実践的な職業教育を同時に進める取組を実施 ・生徒の就労を支援するため、職業教育を主とする専門学科の学習用品を整備	172,602		■	■		
	○			・県立大学附属高校の教育の充実 ・(仮称)奈良県立工科大学開学に向けた基本構想・基本計画の策定	310,903			■	■	
(2)地域での職業選択を叶える	○			・介護職への理解の促進を図り介護職への就業意識を高めるため、高等学校福祉科の生徒による介護実習やボランティアを実施	3,142			■		
	○			・介護福祉士養成施設や福祉系高校に通う学生への修学資金の貸付	140,276			■	■	
	○			・県立医科大学第3期中期目標達成に向けた取組の支援	5,328,691			■	■	
	○			・フォレストアカデミーの学校運営	174,260			■	■	■
	○			・NAFIC(なら食と農の魅力創造国際大学校)の運営(学校運営、学生募集、オープンキャンパスの実施等)	212,397			■	■	■
	○			・高等技術専門学校において、職業訓練を実施 ・民間教育訓練施設等を活用した委託訓練を実施	471,920			■	■	■
○			・確実な就職につなげるため、求職者に対し、3か月間の紹介予定派遣制度を利用した企業での実務研修とオンライン学習の訓練により、事業者が望む知識・能力を有する人材を育成する。 ・県内企業の在職者を対象として、学び直し等を通じたキャリアアップを支援し、業態転換、事業多角化及びDXの推進のため、オンライン学習支援を実施	39,800					■	

第2期教育振興大綱に基づく施策の評価指標

・評価指標のうち、目標を達成している指標と目標との差が拡大している指標について分析

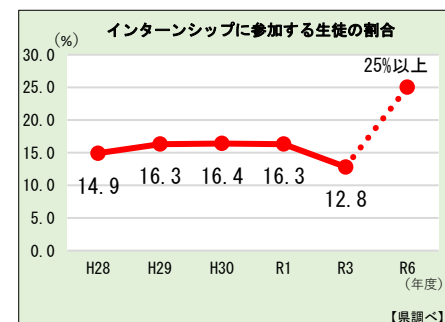
目標との差が縮小している指標

- 奈良県立大学では、初年次からのキャリア教育の充実や、就活生に対するきめ細かなサポートに取り組んでいます。
- この結果、県立大学における就職希望者の就職率については、95.8%となり、国公立大学の平均値との差が縮小しています。



目標との差が拡大している指標

- 高校生を対象に職業観を養う取組や、地元企業や地域と連携した取組などを実施しているものの、インターンシップに参加する生徒の割合は、12.8%であり、「目標値との差が拡大」しています。
- 令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、学校・受入企業等ともに実施を見合わせた状況から数値は減少しています。



課題

- 就職希望者に対する企業等の採用動向の変化に対応した更なる就職支援が必要です。
- 新型コロナウイルス感染症の影響により、インターンシップの実施は難しいとの印象が強くなっており、生徒の参加率を向上させる取組が必要です。

目標達成に向けた取組

- ✓ 奈良県立大学において、採用面接等のオンライン化に対応した面接指導や個別相談、学内での業界研究会の開催や卒業生とも連携した「就職対策講座」を実施。【R4継続】
- ✓ 県内の企業や医療・福祉などに関する法人等へのインターンシップの充実。【R4継続】
- ✓ 高校生の主体的な進路選択が実現するために、高校生合同企業説明会(高校2年生対象)を実施し、勤労観・職業観を養うとともに、効果的な就労支援の実施。【R4継続】

大綱推進のための施策及び評価指標の進捗状況について

4. 地域と協働して活躍する人を育てる

第2期教育振興大綱推進のための施策について

- 大綱推進のための施策について、施策類型別、世代別でまとめたもの
- 子どもたちが、地域とふれあい、郷土を理解する様々な取組を実施しています。
 - 文化やスポーツなど、地域を楽しむ取組を実施しています。
 - 学校に限らず地域社会において、幅広い世代に対する取組を実施しています。

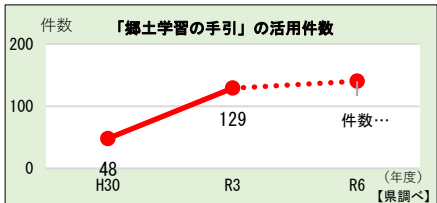
施策の方向	施策類型			令和4年度の主な取組(計画)	R4年度 予算額 (千円)	世代別				
	人材 育成 の 向上	体制 整備 支援	普及 啓発			乳幼児期 教育 (0~6歳)	義務教育 (小・中学校)	高等学校 教育 (高校生)	高等教育 (大学生・専 門学生等)	リカレント 教育 (社会人等)
① 地域を良くする力のはぐくみ	○			・学校・保護者・地域住民の協働により、子どもの様々な課題の解決に向けた取組を推進する市町村に対し補助 ・地域未来塾(放課後子ども教室において学習に特化したものを含む)の設置・運営を支援 ・様々な団体企業等の地域の教育資源を活用し、子どもたちの豊かなまなびの場を創造する「地域と共にある学校づくり」応援隊事業(ならの教育応援隊)の実施 ・公立学校にコミュニティ・スクールを導入し、持続可能な学校・家庭・地域の連携・協働の推進体制を構築	44,018	■	■	■		
	○			・市町村が公立小中学校に学校教育活動を支援する多様な地域人材を配置する費用に対し補助	51,000		■			
	○			・生徒が主体的に企画した地域や地元企業等と協働する取組を支援	2,654			■		
	○			・令和4年度より新規「次世代地域リーダー育成事業」がスタート ・県立敵傍高等学校を事業指定校とし、地域課題研究のカリキュラム開発、課題に応じたフィールドワーク、公開講座、課題研究発表会等を実施	2,507			■		
	○			・郷土の伝統、文化、自然等に関する学習の充実のため、各学校に配布する指導用資料を追加作成	2,610			■		
	○			・青翔中学校における森林環境体験学習、吉野高校・十津川高校における技術者の育成、高田高校における指導者の育成、初任者を対象とした教員研修	2,991			■		
	○			文化財修復の公開・解説を実施 ・文化財のデジタルコンテンツ等を制作 ・文化財に親しむための企画展、体験プログラムの実施	90,155	■	■	■	■	■
	○			・県立大学第2期中期目標達成に向けた取組の支援	363,408				■	
	○			・県立医科大学第3期中期目標達成に向けた取組の支援	5,328,691				■	
	② 地域を楽しむための力のはぐくみ	○			・ムジークフェストなら2022の開催 ・なら歴史芸術文化村における幼児向け公演 ・奈良県みんなでののしむ大芸術祭の開催 ・児童養護施設における音楽ワークショップの実施 ・国際音楽交歓コンサート出演者による県立高校でのクリニック、合同演奏会の実施	184,290	■	■	■	■
○				・総合型地域スポーツクラブの育成強化 ・奈良マラソンなどスポーツイベントの開催 ・スポーツ施設の整備	147,568	■	■	■	■	■
○				・ボランティアの育成や、ボランティア活動の促進等を行うため、県総合ボランティアセンターの機能を強化	9,369		■	■	■	■

第2期教育振興大綱に基づく施策の評価指標

・評価指標のうち、目標を達成している指標と目標との差が拡大している指標について分析

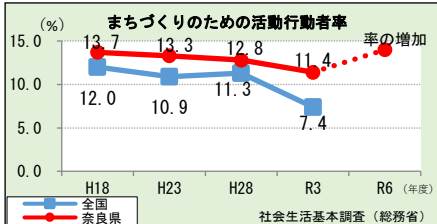
目標を達成している指標

- 全小・中学校等に「郷土学習の手引」を配布し、活用を促しています。
- この結果、「郷土学習の手引」の活用件数は、活用件数が増加しており、目標を達成しています。



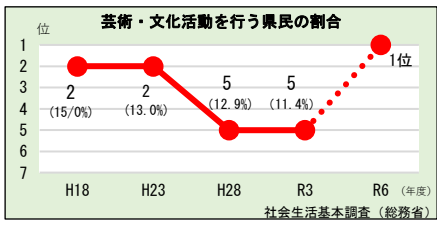
目標との差が拡大している指標

- 学校において、地域と協力する取組を実施しているものの、まちづくりのための活動行動者率は、11.4%となり、「目標値との差が拡大」しています。
- 活動行動者の減少には、新型コロナウイルス感染症の影響が考えられます。



目標との差が横ばいの指標

- 芸術・文化活動を行う県民の割合は、全国順位が5位のまま横ばいですが、数値は1.5ポイント減少しています。



- ### 課題
- 「全国学力・学習状況調査」によると、地域の行事に参加している生徒の割合が減少しており、学校教育において、本国や郷土の歴史や文化などを理解し、ふるさと奈良に誇りや愛着を持てるよう、教育内容の充実が必要です。
 - あらゆる世代の県民が芸術文化に親しみ、自ら文化活動に参加する機会を創出するため、文化振興の更なる充実が必要です。

目標達成に向けた取組

- 全小・中学校等に配布した「郷土学習の手引」の活用促進。【R4継続】
- 郷土の伝統、文化、自然等に関する学習の充実のため、各学校に配布する指導用資料を追加作成。【R4継続】
- 「次世代地域リーダー育成事業」の実施。【R4新規】
- ムジークフェストならや奈良県みんなでののしむ大芸術祭など、文化・芸術を楽しむための取組を実施。【R4継続】
- 文化財のデジタルコンテンツ等を制作し、文化財に親しむための企画展、体験プログラムの実施。【R4新規】

大綱推進のための施策及び評価指標の進捗状況について

5. 地域で個性が輝く環境と仕組みをつくる

第2期教育振興大綱推進のための施策について

・大綱推進のための施策について、施策類型別、世代別でまとめたもの

- いじめ防止対策については、主に小中学校、高等学校で取組を実施しています。
- 不登校・引きこもり対策では、高校卒業後、社会人世代に至るまで取組を実施しています。
- 幅広い世代に対して、支援が必要な方たちに対する支援、体制の整備を中心に取り組んでいます。

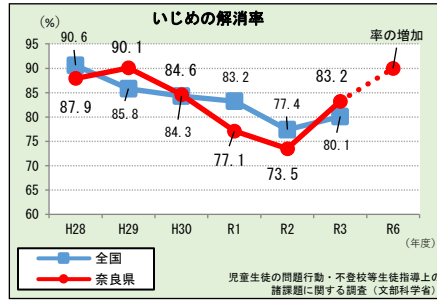
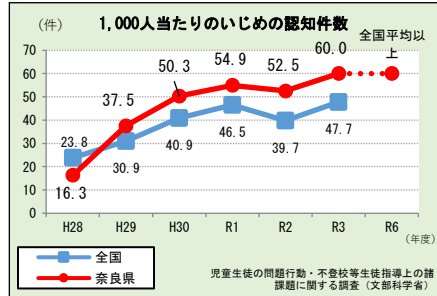
施策の方針	施策類型			令和4年度の主な取組(計画)	R4年度予算額(千円)	世代別				
	人材育成・育質の向上	体制整備支援	普及啓発			乳幼児期教育(0~6歳)	義務教育(小・中学校)	高等学校教育(高校生)	高等教育(大学生・専門学生等)	リカレント教育(社会人等)
全般	○			・あらゆる教育の場での人権教育の推進 ・部落問題学習を具体に推進するための資質の向上を図るため、教員向け研修を実施	2,331		■	■		
① いじめ防止対策		○		・公立学校及び教育研究所にスクールカウンセラーを配置 ・公立学校にスクールソーシャルワーカーを派遣 ・不登校児童生徒の保護者同士の情報交換やネットワークづくりを行うため、保護者・教育関係者等の集いを開催 ・奈良県いじめ対策委員会の設置 ・緊急対応が必要ないじめ事象が発生した場合、緊急対応支援チームを派遣	1,435		■	■		
			○	・いじめ対策連絡協議会の運営等	811		■	■		
			○	・私立学校のスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー設置に対し補助	2,160		■	■		
② 不登校・引きこもり対策		○		・児童生徒の自殺予防に係る研修講座の開催 ・自殺対策への支援体制の構築及び緊急事業への対応 ・自殺対策のためのアドバイザーの配置 ・メール相談窓口・SNS相談窓口・24時間対応電話教育相談窓口の設置	9,283		■	■		
			○	・引きこもり相談窓口の設置 ・社会生活に困難を有する者への居場所の提供及びその家族を対象とした交流会の実施 ・市町村の相談体制強化のためのアドバイザー派遣	18,900		■	■	■	■
③ インクルーシブ教育			○	・障害のある生徒が自立し社会参加を図るため、特別支援学校にキャリア教育コーディネーターを配置 ・各学校における医療的ケア体制の充実のため、看護師が学校を巡回指導	352		■	■		

第2期教育振興大綱に基づく施策の評価指標

・評価指標のうち、目標を達成している指標と目標との差が拡大している指標について分析

目標を達成している指標

- 学校におけるスクールカウンセラーの配置や、不登校生徒・ひきこもり相談体制などを整備する取組を実施しています。
- この結果、いじめの認知件数は60.0件であり、全国平均以上という目標を達成しています。また、いじめの解消率は83.2%であり、率の増加という目標を達成し、3年ぶりに全国平均を上回りました。
- いじめの些細な兆候であっても積極的に認知し、対応に繋げていくよう求めていることや令和3年度から12月を「いじめ防止強化月間」と定め、いじめアンケートの実施及び「いじめ防止組織会議」の集中開催により組織的対応を進めたことが目標を達成した要因と考えています。
- 不登校児童生徒向け学習プログラムの作成・実施については、R3年度に作成・実施しており、目標を達成しています。



- #### 課題
- 令和3年3月に改定された「奈良県いじめ防止基本方針」に基づく取組等、いじめ防止対策を更に強化・推進する必要があります。
 - 不登校児童生徒へも、児童生徒一人一人の個別最適な学び等を実現するため、これまでの心理的支援や福祉の支援に加え、学習支援に力を入れる必要があります。

目標達成に向けた取組

- ✓ 「奈良県いじめ防止基本方針」の趣旨の徹底。【R4継続】
- ✓ 県教育委員会主催の各種研修講座及び各校の校内研修等において「奈良県いじめ防止基本方針」に基づく取組を周知。【R4継続】
- ✓ いじめの早期発見・早期対応のため、いじめの積極的認知。【R4継続】
- ✓ 不登校児童生徒に対する、オンライン等を活用した学習支援を実施。【R4継続】